

年月日

17
09
26ページ
30

NO.

不撓不屈

ふとうふくつ

安価・高品質の車部品

①

顧客に求められるコストは断言する。

量産向け新工場

自動車のシートベルトやエアバッグといった安全装置。世界の車生産台数の堅調な伸びや設置部位の増加、各国の交通法規改正を受け、安全装置の需要はますます高まっている。冷間鍛造部品を手がける飯塚製作所は、売上高の約94%が車関連部品。シートベルトやエアバッグ用部品などの重要部品が多くを占める。

飯塚製作所

士俵上がる条件

創業者の飯塚博は「コストは士俵以上がる条件」と話す。こうした重要な品の条件を満たせるメーカーは「国内では限られ

工場を移転・拡大する形で2003年、針工場（奈良市）を立ち上げた。その後も構内で増設

生産性向上、目線は世界

よりもコスト面で優位に立てる理由の一つが、製品の製法開発から金型製作、量産までの一貫体制だ。「安く良いモノ。まず安くないと車部品は使ってくれない」と飯

品質はもちろん、他社

大変な低減、在庫管理のさらなる向上に努めて

いただいた」と振り返る。

重要部品は「重要部品は飯塚製作所で、と言われるようにしたい」と話す。社長

逆指名を目指す

「『重要部品は飯塚製作所で、』と言われるようにしたい」と話す。社長

▽所在地＝奈良県大和高田市根成柿493、0745・22・3515▽

社長＝飯塚靖氏▽従業員

＝190人▽資本金＝2000万円▽売上高＝38億円（16年7月期）▽URL＝www.iidzka.co.jp/

△国内より、海外メーカーと競争が激しい。十分に戦

い。でも、飯塚の長男である飯塚靖も思いは同じだ。「完全な最新設備の選定にはアンテナを張つて名を耳にすると展望を語る。生産の海外移転に

コストは士俵に上がる条件」と力を込め、飯塚会長は「コストさえ条件に合えば、日本のメーカーに作ってもらいましょうと力を込める」。逆指名をもつたために、ヨーロッパの空洞化が叫ばれて久しい。だが、飯塚も「歐州メーカーのように付加価値のある製品（靖）の開発を進める。生産自動化、不良率のさらなる低減、在庫管理の改革などを通じ、生産性のさらなる向上に努めて

いる。目線は常に世界へ向かっている。

（敬称略）



誘致要請を受けた当時と競争が激しい。十分に戦いは同じだ。「完全な最新設備の選定にはアンテナを張つて名を耳にすると展望を語る。生産の海外移転にする。

m/